



2023年12月5日

各 位

会社名 : 三菱ケミカルグループ株式会社
代表者名 : 代表執行役社長 ジョンマーク・ギルソン
(コード番号: 4188 東証プライム市場)
問合せ先 : コーポレートコミュニケーション本部長 清水 治
TEL. : 03-6748-7120

**連結子会社（日本酸素ホールディングス株式会社）による
公募ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の期限前償還に関するお知らせ**

当社の連結子会社である日本酸素ホールディングス株式会社（コード番号: 4091 東証プライム市場、代表取締役社長 CEO: 濱田敏彦、本社: 東京都品川区）が、2019年1月29日に発行した公募形式によるハイブリッド社債（劣後特約付社債）の期限前償還について、本日、別添のとおり発表いたしましたので、ご連絡いたします。

以 上



2023年12月5日

各 位

会 社 名 日本酸素ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 濱田 敏彦
(コード番号 4091 東証プライム)
問合せ先 I R部長 梶山 慶太
(TEL 03-5788-8512)

公募ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の期限前償還に関するお知らせ

当社（旧商号：大陽日酸株式会社）は、2019年1月29日に発行いたしました下記の公募形式によるハイブリッド社債（劣後特約付社債）（以下、本社債）について、全額期限前償還することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 期限前償還の背景

当社は、2018年12月4日付「公募ハイブリッド社債（公募劣後特約付社債）の発行に関するお知らせ」にて公表した通り、株式希薄化による資本効率低下を回避しつつ、財務健全性の維持に資する資金調達手段として、本社債を発行いたしました。

今般、2024年1月29日に初回任意償還日を迎えるにあたり、今後の成長投資を踏まえた財務健全性及び手元資金の状況等を勘案し、全額期限前償還することが財務戦略の柔軟性を高め、企業価値の向上に資すると判断いたしました。

なお、本社債の発行以降、財務健全性の改善が着実に進捗し、本社債の発行登録追補書類に定める、本社債の償還及び買入消却時の借り換えに関する制限（注1）の例外規定（注2）を充足する予定のため、期限前償還に先立つ資本性調達は予定しておらず、償還資金については2023年8月31日発行の第3回、第4回および第5回無担保社債（社債間限定同順位特約付）の手取金等で充当する予定です。

（注1）本社債を期限前償還又は買入れにより取得（以下、期限前償還等）する場合には、期限前償還等を行う日以前12ヶ月間に、本社債と同等以上の資本性を有するものとして信用格付業者から承認を得た手段によって資金調達を行うことを意図しております。

（注2）本社債の期限前償還等を行う場合において、以下の要件をいずれも充足する場合には、上記（注1）の資金調達を見送る可能性があります。

- ① 当社より公表（決算短信による公表を含む）済みの連結貸借対照表に係る財務データ（以下「財務データ」）に基づき算出される、期限前償還等を行う日の直前の連結会計年度末又は四半期連結会計期間末における当社調整後連結ネットデット・株主資本レシオが1.00倍以下である場合。また、期限前償還等実施後の調整後連結ネットデット・株主資本レシオが1.00倍を超えない場合。
- ② 財務データに基づき算出される、期限前償還等を行う日の直前の連結会計年度末又は四半期連結会計期間末における連結株主資本の金額が、2019年3月期第2四半期末における連結株主資本の金額と比較して、1,000億円以上増加している場合。

2. 期限前償還の内容

- | | | |
|-----|-----------|--|
| (1) | 期限前償還する銘柄 | 大陽日酸株式会社
第1回利払繰延条項・期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付） |
| (2) | 発行総額 | 金1,000億円 |
| (3) | 発行日 | 2019年1月29日 |
| (4) | 償還期限 | 2054年1月29日 |
| (5) | 期限前償還日 | 2024年1月29日（初回任意償還日） |
| (6) | 期限前償還総額 | 金1,000億円 |
| (7) | 期限前償還金額 | 額面100円につき金100円 |

以上